

ルールやマナーについての善悪の判断に関すること

「ルールやマナーについての善悪の判断に関すること」の質問は、次の表に示す16項目である。

なお、これ以降は、表中に示す略称を用いる。

	質問項目	略称
1	タバコを吸う	タバコを吸う
2	お酒を飲む	お酒を飲む
3	物をこわしたり、落書きしたりする	物の破壊や落書き
4	人に暴力をふるう	人に暴力をふるう
5	人のものを無断で使う	人のものを無断で使う
6	「いじめ」をする	「いじめ」をする
7	万引きをする	万引きをする
8	自転車の二人乗りや並進をする	自転車二人乗り・並進
9	自転車のかさ差し運転をする	自転車かさ差し運転
10	茶髪にしたり化粧したりする	茶髪・化粧
11	深夜出歩く	深夜出歩く
12	バスや電車の中、お店などで、まわりに人がいるときに、大声で話したり騒いだりする	大声で話す・騒ぐ
13	バスや電車の中、お店などで、まわりに人がいるときに、携帯電話で話す	携帯電話で話す
14	バスや電車の中で、座席を必要以上にとる	座席を必要以上にとる
15	電車の中や店さきなどで、しゃがみ込んだりじかに座ったりする	しゃがむ地べた座り
16	ごみをポイ捨てしたり置きっぱなしにしたりする	ポイ捨て

1 児童生徒の調査結果について

この表は、4ページ「3 質問の構成」に、「回答の選択肢」を付け加え、本節で述べる領域等の範囲を で示したものである。

領域	項目数	質問内容(児童生徒)	質問内容(保護者)	回答の選択肢
ルールやマナーについての善悪の判断に関すること	16項目	小・中・高校生がそのような行動をとることをどう思うか		悪い どちらかといえば悪い どちらかといえば悪くない 悪くない
		周囲にそのような行動をとる人がいたらどう感じるか		とてもいやな気がする 少しいやな気がする あまり気にならない まったく気にならない

でも、と同様、2段階に分けて質問した。

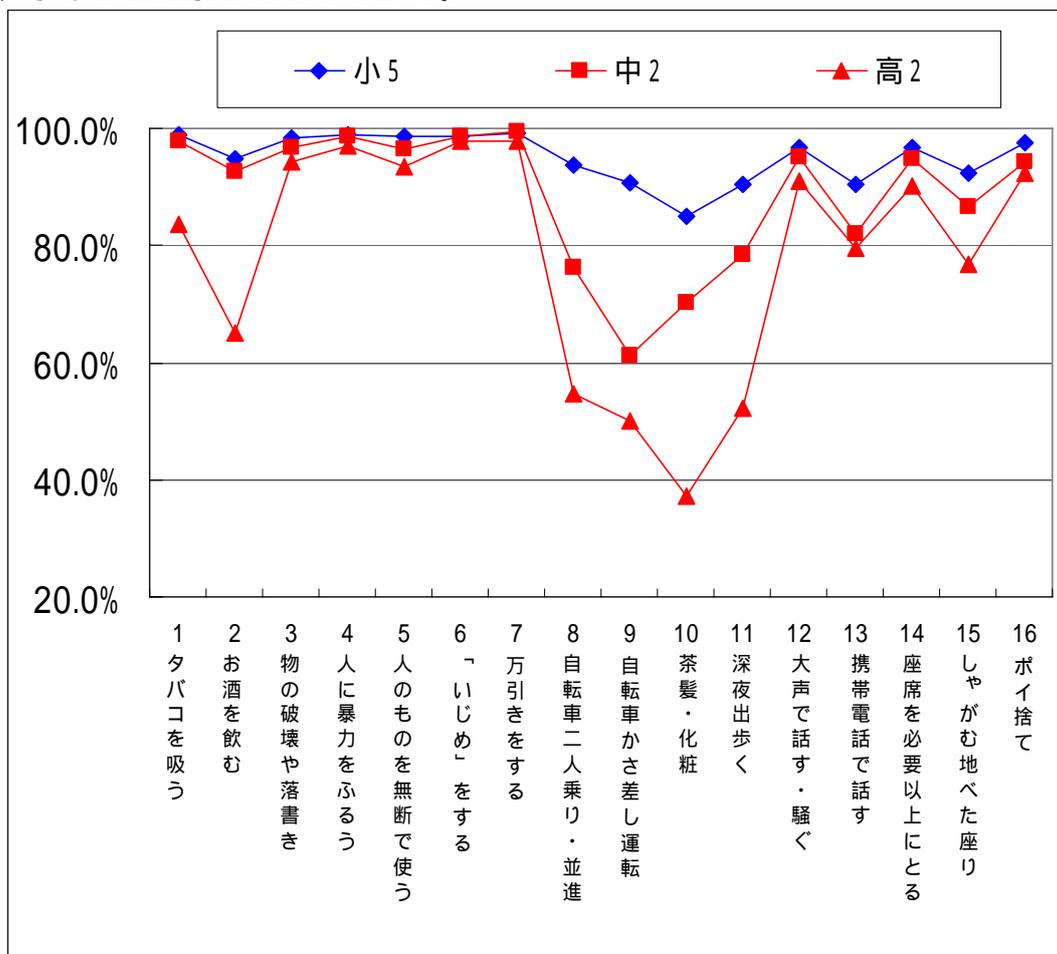
では、小・中・高校生がそのような行動をとることをどう思うか、その善悪の判断について質問した。

では、そのような行動をとる人が周囲にいたらどう感じるかを質問した。

(1)ルールやマナーについての善悪の判断

質問 「小学生、中学生、高校生がそれらのことをすることをどう思いますか。」

下のグラフは、各質問項目の「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた割合を、学年ごとに示したものである。また、下の表は、その割合が高い順に質問項目を並べ、学年ごとに示したものである。



「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた割合						
	小5		中2		高2	
1	万引きをする	99.2%	万引きをする	99.4%	「いじめ」をする	97.9%
2	タバコを吸う	98.9%	人に暴力をふるう	98.6%	万引きをする	97.7%
3	人に暴力をふるう	98.9%	「いじめ」をする	98.6%	人に暴力をふるう	96.9%
4	人のものを無断で使う	98.6%	タバコを吸う	97.8%	物の破壊や落書き	94.4%
5	「いじめ」をする	98.6%	物の破壊や落書き	96.7%	人のものを無断で使う	93.3%
6	物の破壊や落書き	98.4%	人のものを無断で使う	96.4%	ボイ捨て	92.3%
7	ボイ捨て	97.6%	大声で話す・騒ぐ	95.0%	大声で話す・騒ぐ	91.0%
8	大声で話す・騒ぐ	96.8%	座席を必要以上にとる	94.7%	座席を必要以上にとる	90.3%
9	座席を必要以上にとる	96.8%	ボイ捨て	94.2%	タバコを吸う	83.6%
10	お酒を飲む	94.9%	お酒を飲む	92.5%	携帯電話で話す	79.5%
11	自転車二人乗り・並進	93.8%	しゃがむ地べた座り	86.7%	しゃがむ地べた座り	76.7%
12	しゃがむ地べた座り	92.5%	携帯電話で話す	82.0%	お酒を飲む	65.1%
13	自転車かさ差し運転	90.8%	深夜出歩く	78.4%	自転車二人乗り・並進	54.6%
14	携帯電話で話す	90.6%	自転車二人乗り・並進	76.2%	深夜出歩く	52.2%
15	深夜出歩く	90.3%	茶髪・化粧	70.1%	自転車かさ差し運転	50.0%
16	茶髪・化粧	84.9%	自転車かさ差し運転	61.3%	茶髪・化粧	37.2%

〔結果から見られる特徴〕

ア 全体的に多くの項目で、「悪い」「どちらかといえば悪い」と回答している割合が高いが、学年が上がるにしたがって低くなっている。特に「8. 自転車二人乗り・並進」、「9. 自転車かさ差し運転」、「10. 茶髪・化粧」、「11. 深夜出歩く」は大きく低下している。

イ 高2の「1. タバコを吸う」、「2. お酒を飲む」の「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた割合は、それぞれ83.6%、65.1%と、小5、中2に比べ割合が低い。さらに、男女の差を見てみると、男子の方が女子よりも13.9%、17.0%それぞれ低い。(表5、6参照)

タバコを吸う		悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数				
小5	男	185	95.4%	8	4.1%	0	0.0%	1	0.5%	194
	女	160	89.9%	15	8.4%	2	1.1%	1	0.6%	178
計		345	92.7%	23	6.2%	2	0.5%	2	0.5%	372
中2	男	152	87.4%	20	11.5%	1	0.6%	1	0.6%	174
	女	154	82.8%	26	14.0%	3	1.6%	3	1.6%	186
計		306	85.0%	46	12.8%	4	1.1%	4	1.1%	360
高2	男	115	54.5%	48	22.7%	23	10.9%	25	11.8%	211
	女	126	70.4%	37	20.7%	10	5.6%	6	3.4%	179
計		241	61.8%	85	21.8%	33	8.5%	31	7.9%	390

表 5

お酒を飲む		悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数				
小5	男	161	83.0%	23	11.9%	8	4.1%	2	1.0%	194
	女	138	77.5%	31	17.4%	5	2.8%	4	2.2%	178
計		299	80.4%	54	14.5%	13	3.5%	6	1.6%	372
中2	男	120	68.6%	46	26.3%	8	4.6%	1	0.6%	175
	女	113	60.8%	55	29.6%	13	7.0%	5	2.7%	186
計		233	64.5%	101	28.0%	21	5.8%	6	1.7%	361
高2	男	60	28.4%	61	28.9%	48	22.7%	42	19.9%	211
	女	63	35.2%	70	39.1%	33	18.4%	13	7.3%	179
計		123	31.5%	131	33.6%	81	20.8%	55	14.1%	390

表 6

ウ 高2の「11. 深夜出歩く」、「15. しゃがむ地べた座り」の男女の差を見てみると、「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた割合は、男子の方が女子より18.8%、20.4%それぞれ低い。(表7、8参照)

深夜出歩く		悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数				
小5	男	141	72.7%	33	17.0%	11	5.7%	9	4.6%	194
	女	124	69.7%	38	21.3%	11	6.2%	5	2.8%	178
計		265	71.2%	71	19.1%	22	5.9%	14	3.8%	372
中2	男	67	38.3%	72	41.1%	24	13.7%	12	6.9%	175
	女	70	37.6%	74	39.8%	28	15.1%	14	7.5%	186
計		137	38.0%	146	40.4%	52	14.4%	26	7.2%	361
高2	男	32	15.2%	60	28.4%	52	24.6%	67	31.8%	211
	女	29	16.3%	82	46.1%	45	25.3%	22	12.4%	178
計		61	15.7%	142	36.5%	97	24.9%	89	22.9%	389

表 7

しゃがむ地べた座り		悪い	どちらかといえば悪い	どちらかといえば悪くない	悪くない	回答数				
小5	男	149	77.2%	26	13.5%	9	4.7%	9	4.7%	193
	女	141	79.2%	27	15.2%	5	2.8%	5	2.8%	178
計		290	78.2%	53	14.3%	14	3.8%	14	3.8%	371
中2	男	86	49.1%	69	39.4%	11	6.3%	9	5.1%	175
	女	89	47.8%	69	37.1%	20	10.8%	8	4.3%	186
計		175	48.5%	138	38.2%	31	8.6%	17	4.7%	361
高2	男	87	41.2%	55	26.1%	43	20.4%	26	12.3%	211
	女	69	38.5%	88	49.2%	15	8.4%	7	3.9%	179
計		156	40.0%	143	36.7%	58	14.9%	33	8.5%	390

表 8

エ 「3. 物の破壊や落書き」、「4. 人に暴力をふるう」、「5. 人のものを無断で使う」、「6. 『いじめ』をする」、「7. 万引きをする」は、どの学年も「悪い」「どちらかといえば悪い」と回答している割合が非常に高い。

オ 「４．人に暴力をふるう」では、４つの選択肢のうち「悪い」だけについて男女の差を見てみると、女子は約 94%でどの学年も差がない。一方、男子は、小５の 92.8%に対し、中２、高２では、77.0%、75.4%とそれぞれ低くなっており、女子との差が大きくなっている。(表 9 参照)

人に暴力をふるう		悪い		どちらかといえば悪い		どちらかといえば悪くない		悪くない		回答数
小5	男	180	92.8%	11	5.7%	2	1.0%	1	0.5%	194
	女	169	94.9%	8	4.5%	0	0.0%	1	0.6%	178
計		349	93.8%	19	5.1%	2	0.5%	2	0.5%	372
中2	男	134	77.0%	36	20.7%	2	1.1%	2	1.1%	174
	女	175	94.1%	10	5.4%	1	0.5%	0	0.0%	186
計		309	85.8%	46	12.8%	3	0.8%	2	0.6%	360
高2	男	159	75.4%	40	19.0%	9	4.3%	3	1.4%	211
	女	167	93.8%	11	6.2%	0	0.0%	0	0.0%	178
計		326	83.8%	51	13.1%	9	2.3%	3	0.8%	389

表 9

カ 「６．『いじめ』をする」では、４つの選択肢のうち「悪い」だけについて男女の差を見てみると、小５、中２では差がないが、高２では男子の割合が低く、女子との差が 16.1%と大きい。(表 10 参照)

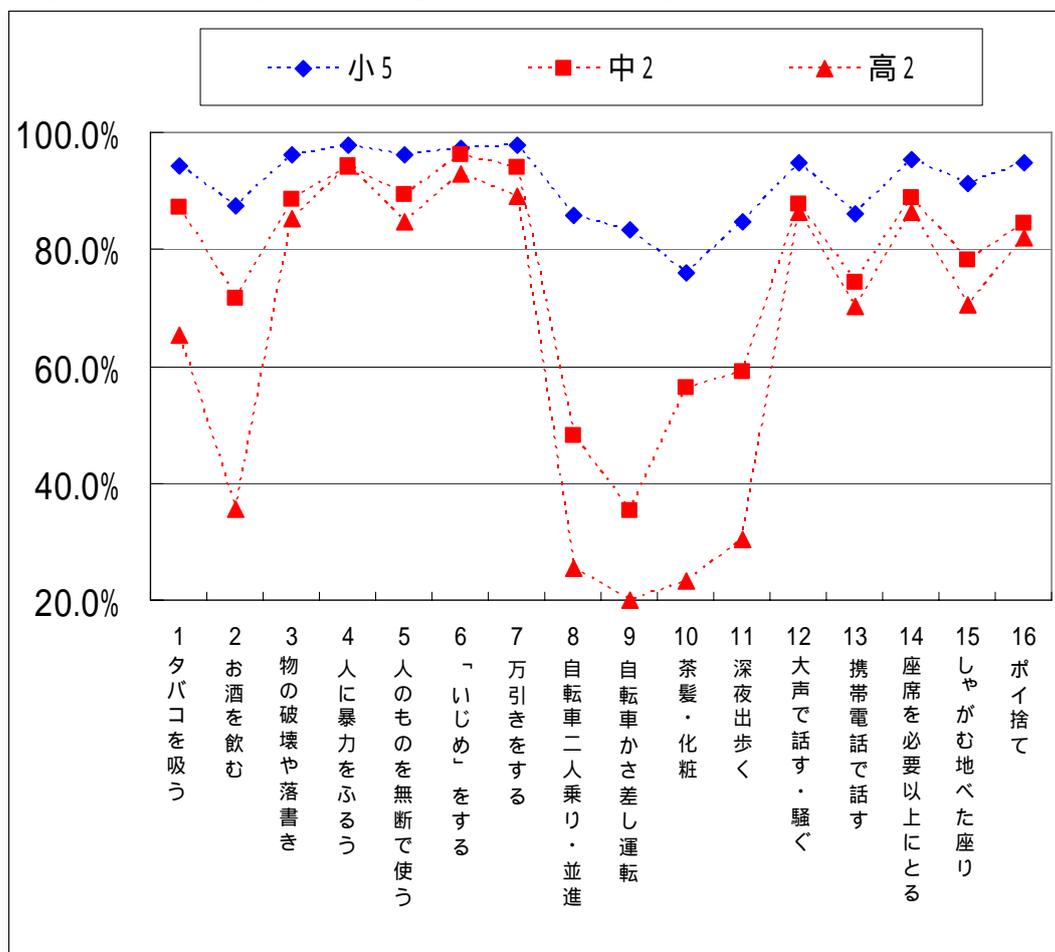
『いじめ』をする		悪い		どちらかといえば悪い		どちらかといえば悪くない		悪くない		回答数
小5	男	177	92.2%	12	6.3%	2	1.0%	1	0.5%	192
	女	167	93.8%	9	5.1%	1	0.6%	1	0.6%	178
計		344	93.0%	21	5.7%	3	0.8%	2	0.5%	370
中2	男	157	90.2%	15	8.6%	1	0.6%	1	0.6%	174
	女	171	91.9%	12	6.5%	2	1.1%	1	0.5%	186
計		328	91.1%	27	7.5%	3	0.8%	2	0.6%	360
高2	男	169	80.5%	33	15.7%	6	2.9%	2	1.0%	210
	女	173	96.6%	6	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	179
計		342	87.9%	39	10.0%	6	1.5%	2	0.5%	389

表 10

(2) 周囲の人の行動に対する意識

質問 「そのようなことをする人がまわりにいたらどう思いますか。」

下のグラフは、各質問項目の「とてもいやな気がする」と「少しいやな気がする」を合わせた割合を、学年ごとに示したものである。また、下の表は、その割合が高い順に質問項目を並べ、学年ごとに示したものである。



「とてもいやな気がする」と「少しいやな気がする」を合わせた割合						
順位	小5		中2		高2	
1	人に暴力をふるう	97.8%	「いじめ」をする	96.1%	人に暴力をふるう	94.4%
2	万引きをする	97.8%	人に暴力をふるう	94.4%	「いじめ」をする	93.0%
3	「いじめ」をする	97.3%	万引きをする	93.9%	万引きをする	89.2%
4	物の破壊や落書き	96.2%	人のものを無断で使う	89.4%	大声で話す・騒ぐ	86.3%
5	人のものを無断で使う	96.2%	座席を必要以上にとる	88.8%	座席を必要以上にとる	86.3%
6	座席を必要以上にとる	95.4%	物の破壊や落書き	88.5%	物の破壊や落書き	85.3%
7	大声で話す・騒ぐ	94.9%	大声で話す・騒ぐ	87.7%	人のものを無断で使う	84.8%
8	ポイ捨て	94.9%	タバコを吸う	87.2%	ポイ捨て	82.0%
9	タバコを吸う	94.3%	ポイ捨て	84.4%	しゃがむ地べた座り	70.6%
10	しゃがむ地べた座り	91.3%	しゃがむ地べた座り	78.3%	携帯電話で話す	70.4%
11	お酒を飲む	87.3%	携帯電話で話す	74.4%	タバコを吸う	65.2%
12	携帯電話で話す	86.0%	お酒を飲む	71.6%	お酒を飲む	35.6%
13	自転車二人乗り・並進	85.7%	深夜出歩く	59.1%	深夜出歩く	30.4%
14	深夜出歩く	84.7%	茶髪・化粧	56.4%	自転車二人乗り・並進	25.4%
15	自転車かさ差し運転	83.3%	自転車二人乗り・並進	48.2%	茶髪・化粧	23.2%
16	茶髪・化粧	76.0%	自転車かさ差し運転	35.2%	自転車かさ差し運転	19.9%

〔結果から見られる特徴〕

ア 中2と高2の「4.人に暴力をふるう」の回答率が同じであること以外、すべての項目で、学年が上がるにしたがって「いやな気がする」「とてもいやな気がする」と「少しいやな気がする」を合わせた割合)と回答した割合が低くなっている。

イ 特に、「1.タバコを吸う」、「2.お酒を飲む」、「8.自転車二人乗り・並進」、「9.自転車かさ差し運転」、「10.茶髪・化粧」、「11.深夜出歩く」で、低下する傾向が顕著である。

ウ 「4.人に暴力をふるう」、「6.『いじめ』をする」、「7.万引きをする」は、どの学年の中でも「いやな気がする」と回答している割合が高い。

エ 「8.自転車二人乗り・並進」、「9.自転車かさ差し運転」、「10.茶髪・化粧」、「11.深夜出歩く」は、どの学年の中でも「いやな気がする」と回答している割合が低い。

オ 高2の「1.タバコを吸う」、「2.お酒を飲む」、「11.深夜出歩く」は、の「悪い」と同じように、男子の方が女子よりも低い。(表11、12、13参照)

タバコを吸う		とても いやな気がする	少し いやな気がする	あまり 気にならない	まったく 気にならない	回答数		
小5	男	160	82.9%	23	11.9%	5	2.6%	193
	女	145	81.5%	22	12.4%	6	3.4%	178
	計	305	82.2%	45	12.1%	11	3.0%	371
中2	男	110	64.0%	35	20.3%	18	10.5%	172
	女	127	68.3%	40	21.5%	16	8.6%	186
	計	237	66.2%	75	20.9%	34	9.5%	358
高2	男	77	36.8%	43	20.6%	51	24.4%	209
	女	97	54.2%	36	20.1%	32	17.9%	179
	計	174	44.8%	79	20.4%	83	21.4%	388

表 11

お酒を飲む		とても いやな気がする	少し いやな気がする	あまり 気にならない	まったく 気にならない	回答数		
小5	男	132	68.0%	37	19.1%	15	7.7%	194
	女	126	71.2%	29	16.4%	15	8.5%	177
	計	258	69.5%	66	17.8%	30	8.1%	371
中2	男	74	42.8%	48	27.7%	37	21.4%	173
	女	78	41.9%	57	30.6%	39	21.0%	186
	計	152	42.3%	105	29.2%	76	21.2%	359
高2	男	28	13.4%	33	15.8%	75	35.9%	209
	女	31	17.3%	46	25.7%	69	38.5%	179
	計	59	15.2%	79	20.4%	144	37.1%	388

表 12

深夜出歩く		とても いやな気がする	少し いやな気がする	あまり 気にならない	まったく 気にならない	回答数		
小5	男	122	62.9%	39	20.1%	22	11.3%	194
	女	119	66.9%	35	19.7%	11	6.2%	178
	計	241	64.8%	74	19.9%	33	8.9%	372
中2	男	51	29.5%	48	27.7%	44	25.4%	173
	女	53	28.5%	60	32.3%	52	28.0%	186
	計	104	29.0%	108	30.1%	96	26.7%	359
高2	男	17	8.1%	32	15.3%	73	34.9%	209
	女	23	13.1%	45	25.6%	73	41.5%	176
	計	40	10.4%	77	20.0%	146	37.9%	385

表 13

カ 「4. 人に暴力をふるう」も、の「悪い」と同じように、中2、高2の男子が女子よりも低く、男女差が見られる。(表14参照)

人に暴力をふるう		とてもいやな気がする		少しいやな気がする		あまり気にならない		まったく気にならない		回答数
小5	男	172	88.7%	16	8.2%	4	2.1%	2	1.0%	194
	女	166	93.3%	10	5.6%	1	0.6%	1	0.6%	178
計		338	90.9%	26	7.0%	5	1.3%	3	0.8%	372
中2	男	124	72.1%	31	18.0%	10	5.8%	7	4.1%	172
	女	161	87.0%	21	11.4%	3	1.6%	0	0.0%	185
計		285	79.8%	52	14.6%	13	3.6%	7	2.0%	357
高2	男	140	67.0%	43	20.6%	18	8.6%	8	3.8%	209
	女	158	88.8%	18	10.1%	2	1.1%	0	0.0%	178
計		298	77.0%	61	15.8%	20	5.2%	8	2.1%	387

表 14

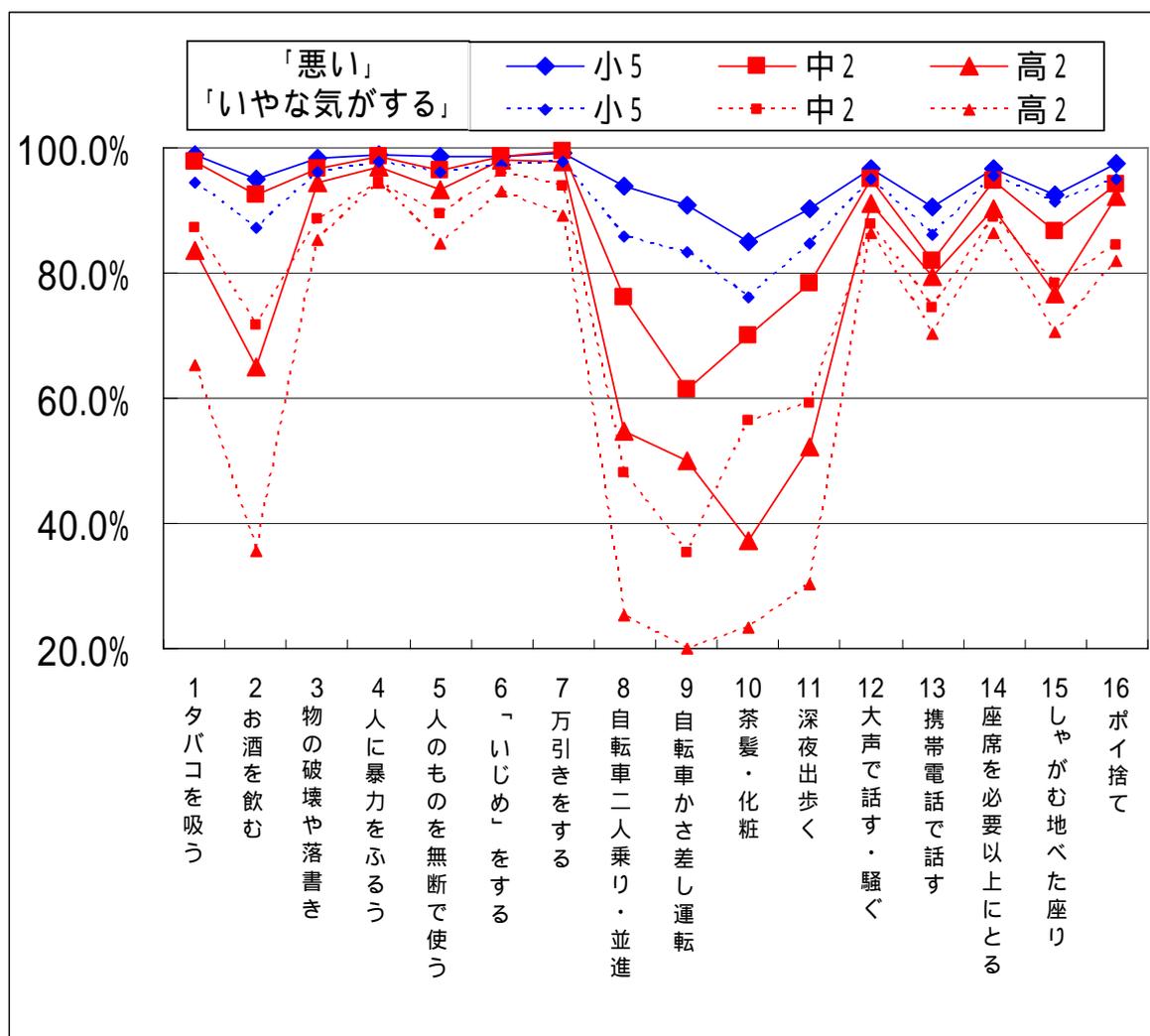
キ 「6.『いじめ』をする」も、の「悪い」と同じように、高2の男子が女子よりも低く、男女差が見られる。(表15参照)

「いじめ」をする		とてもいやな気がする		少しいやな気がする		あまり気にならない		まったく気にならない		回答数
小5	男	174	89.7%	13	6.7%	3	1.5%	4	2.1%	194
	女	165	92.7%	10	5.6%	1	0.6%	2	1.1%	178
計		339	91.1%	23	6.2%	4	1.1%	6	1.6%	372
中2	男	140	81.4%	24	14.0%	3	1.7%	5	2.9%	172
	女	164	88.6%	15	8.1%	5	2.7%	1	0.5%	185
計		304	85.2%	39	10.9%	8	2.2%	6	1.7%	357
高2	男	146	70.2%	37	17.8%	15	7.2%	10	4.8%	208
	女	164	91.6%	13	7.3%	1	0.6%	1	0.6%	179
計		310	80.1%	50	12.9%	16	4.1%	11	2.8%	387

表 15

(3) 「ルールやマナーについての善悪の判断」と「周囲の人の行動に対する意識」との比較

下のグラフは、ルールやマナーについて、小・中・高校生がそれらのことをすることを「悪い」(「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた割合)と回答した割合と、そのようなことをする人がまわりにいたら「いやな気がする」と回答した割合の比較をするために、20ページと23ページのグラフを一つのグラフにまとめて示したものである。



〔結果から見られる特徴〕

- ア 小5では、「悪い」と「いやな気がする」の割合の差が、最も大きいものでも8.9%（「10.茶髪・化粧」）であり、どの項目もあまり大きな差がない。
- イ 特に、「4.人に暴力をふるう」、「6.『いじめ』をする」は、どの学年でも、割合が高く差が小さい。
- ウ 中2と高2では、「1.タバコを吸う」、「2.お酒を飲む」、「8.自転車二人乗り・並進」、「9.自転車かさ差し運転」、「10.茶髪・化粧」、「11.深夜出歩く」に大きな差が見られる。

(4) 児童生徒の結果から考えられること

- 小5と中2の間、中2と高2の間に、それぞれ大きな差が見られる部分は、発達段階に応じた特徴といえる。小中および中高の間で連携を図り、地域社会の協力を得ながら解決していくべき課題と考えられる。
- 「2. お酒を飲む」、「8. 自転車二人乗り・並進」、「9. 自転車かさ差し運転」、「10. 茶髪・化粧」、「11. 深夜出歩く」については、中・高校生で、これらの行動を容認する傾向が顕著であることから、指導上大きな課題であるといえる。
- ルールの範疇に入るもののうち、大人であろうとも許されない行為に対しては否定的に見ている。しかし、大人であれば許されることや自転車の乗り方については、寛容である。これらの違いは、物理的・肉体的・精神的な面での危害や被害が人に直接及ぶか否かというところに、子どもたちの判断の分かれ目があることを表しているのではないだろうか。

2 保護者の調査結果について

この表は、4 ページ「3 質問の構成」に、「回答の選択肢」を付け加え、本節で述べる領域等の範囲を で示したものである。

領域	項目数	質問内容(児童生徒)	質問内容(保護者)	回答の選択肢
ルールやマナーについての善悪の判断に関すること	16 項目		自分の子どもがそのような行動をとったとしたら注意するか	注意する なかなか注意できない 特に注意しない
			自分の子ども以外の子どもがそのような行動をとったとしたら注意するか	注意する なかなか注意できない 特に注意しない

保護者も、児童生徒と同様に、2 段階に分けて質問した。

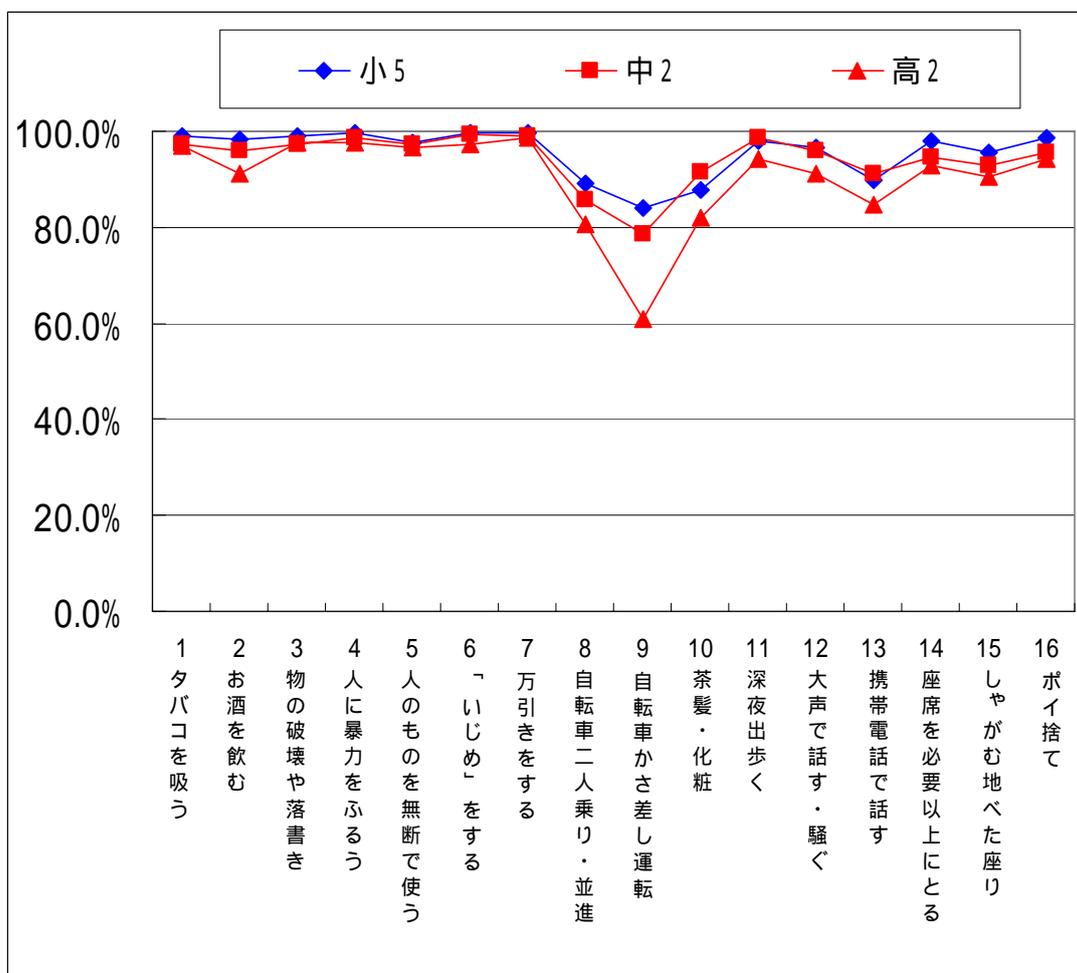
では、自分の子どもがそのような行動をとったとしたら注意するかどうかを質問した。

では、自分の子ども以外の子どもがそのような行動をとったとしたら注意するかどうかを質問した。

(1)自分の子どもに注意をするか

質問 「あなたのお子様がそのような行動をとったとしたら、注意をしますか。」

下のグラフは、「注意する」と回答した割合を、学年ごとに示したものである。また、下の表は、その割合が高い順に質問項目を並べ、学年ごとに示したものである。



順位	小5	中2	高2
1	万引きをする 99.7%	「いじめ」をする 99.4%	万引きをする 98.6%
2	人に暴力をふるう 99.7%	万引きをする 99.1%	人に暴力をふるう 97.8%
3	「いじめ」をする 99.7%	深夜出歩く 98.5%	物の破壊や落書き 97.8%
4	物の破壊や落書き 98.8%	人に暴力をふるう 98.5%	「いじめ」をする 97.2%
5	タバコを吸う 98.8%	タバコを吸う 97.3%	タバコを吸う 96.9%
6	ポイ捨て 98.5%	物の破壊や落書き 97.3%	人のものを無断で使う 96.7%
7	お酒を飲む 98.2%	人のものを無断で使う 97.3%	深夜出歩く 94.2%
8	深夜出歩く 97.9%	お酒を飲む 95.8%	ポイ捨て 94.2%
9	座席を必要以上にとる 97.9%	大声で話す・騒ぐ 95.8%	座席を必要以上にとる 92.7%
10	人のものを無断で使う 97.6%	ポイ捨て 95.6%	お酒を飲む 91.1%
11	大声で話す・騒ぐ 96.7%	座席を必要以上にとる 94.7%	大声で話す・騒ぐ 91.1%
12	しゃがむ地べた座り 95.5%	しゃがむ地べた座り 92.9%	しゃがむ地べた座り 90.5%
13	携帯電話で話す 89.9%	茶髪・化粧 91.7%	携帯電話で話す 84.7%
14	自転車二人乗り・並進 89.1%	携帯電話で話す 91.1%	茶髪・化粧 81.9%
15	茶髪・化粧 87.8%	自転車二人乗り・並進 85.8%	自転車二人乗り・並進 80.8%
16	自転車かさ差し運転 83.9%	自転車かさ差し運転 78.5%	自転車かさ差し運転 61.0%

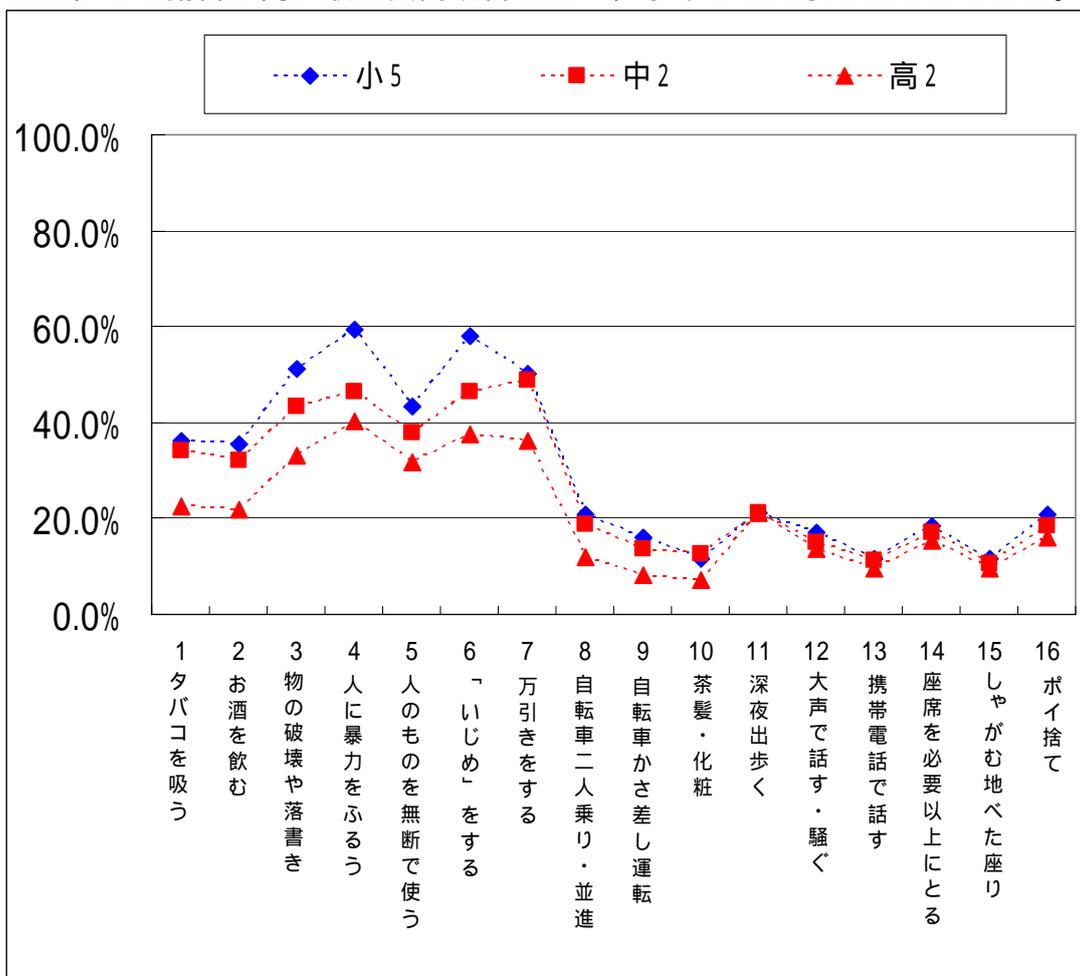
〔結果から見られる特徴〕

- ア どの学年も、ほとんどの項目で「注意する」と回答した割合が高い。
- イ 特に、小5では、16項目中12項目で「注意する」と回答した割合が95%を超えている。
- ウ ほとんどの項目で、中2、高2と学年が上がるにしたがって割合が低くなっている。
- エ 「8.自転車二人乗り・並進」、「9.自転車かさ差し運転」、「10.茶髪・化粧」、「13.携帯電話で話す」は、他の項目に比べ割合が低い。

(2)自分の子ども以外の子どもの注意をするか

質問 「あなたのお子様以外の子どものような行動をとったとしたら、注意をしますか。」

下のグラフは、「注意する」と回答した割合を、学年ごとに示したものである。また、下の表は、その割合が高い順に質問項目を並べ、学年ごとに示したものである。



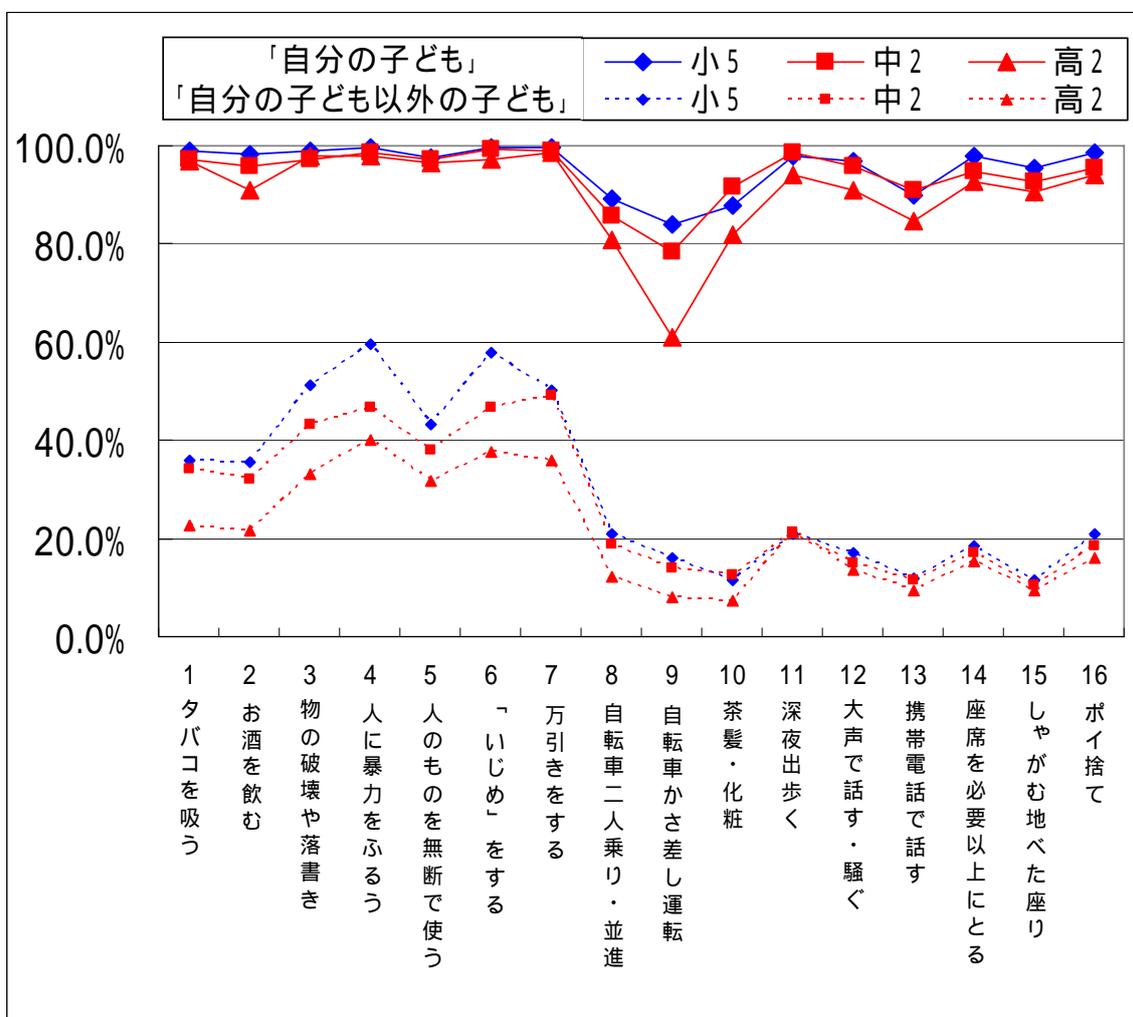
「注意する」と回答した割合						
順位	小5		中2		高2	
1	人に暴力をふるう	59.5%	万引きをする	49.0%	人に暴力をふるう	40.2%
2	「いじめ」をする	57.9%	「いじめ」をする	46.5%	「いじめ」をする	37.5%
3	物の破壊や落書き	51.1%	人に暴力をふるう	46.5%	万引きをする	36.1%
4	万引きをする	50.2%	物の破壊や落書き	43.2%	物の破壊や落書き	33.1%
5	人のものを無断で使う	43.3%	人のものを無断で使う	37.9%	人のものを無断で使う	31.6%
6	タバコを吸う	36.1%	タバコを吸う	34.2%	タバコを吸う	22.6%
7	お酒を飲む	35.6%	お酒を飲む	32.0%	お酒を飲む	21.7%
8	深夜出歩く	21.0%	深夜出歩く	21.3%	深夜出歩く	21.3%
9	自転車二人乗り・並進	20.8%	自転車二人乗り・並進	18.9%	ボイ捨て	16.0%
10	ボイ捨て	20.8%	しゃがむ地べた座り	18.6%	座席を必要以上にとる	15.4%
11	座席を必要以上にとる	18.5%	座席を必要以上にとる	17.1%	大声で話す・騒ぐ	13.5%
12	大声で話す・騒ぐ	17.2%	大声で話す・騒ぐ	15.0%	自転車二人乗り・並進	12.1%
13	自転車かさ差し運転	16.1%	自転車かさ差し運転	13.8%	しゃがむ地べた座り	9.6%
14	携帯電話で話す	11.7%	茶髪・化粧	12.6%	携帯電話で話す	9.5%
15	茶髪・化粧	11.6%	携帯電話で話す	11.4%	自転車かさ差し運転	8.1%
16	しゃがむ地べた座り	11.5%	ボイ捨て	10.5%	茶髪・化粧	7.3%

〔結果から見られる特徴〕

- ア どの学年も同じような傾向であり、「注意する」と回答した割合は高くない。
- イ 8～16は、いずれも「注意する」との回答が10～20%程度であり、低い割合である。

(3) 「自分の子どもに注意をするか」と「自分の子ども以外の子どもに注意をするか」
との比較

下のグラフは、ルールやマナーについて、自分の子どもがそのような行動をとったとしたら「注意する」と回答した割合と自分の子ども以外の子どもがそのような行動をとったとしたら「注意する」と回答した割合の比較をするために、29ページと31ページのグラフを一つのグラフにまとめて示したものである。



〔結果から見られる特徴〕

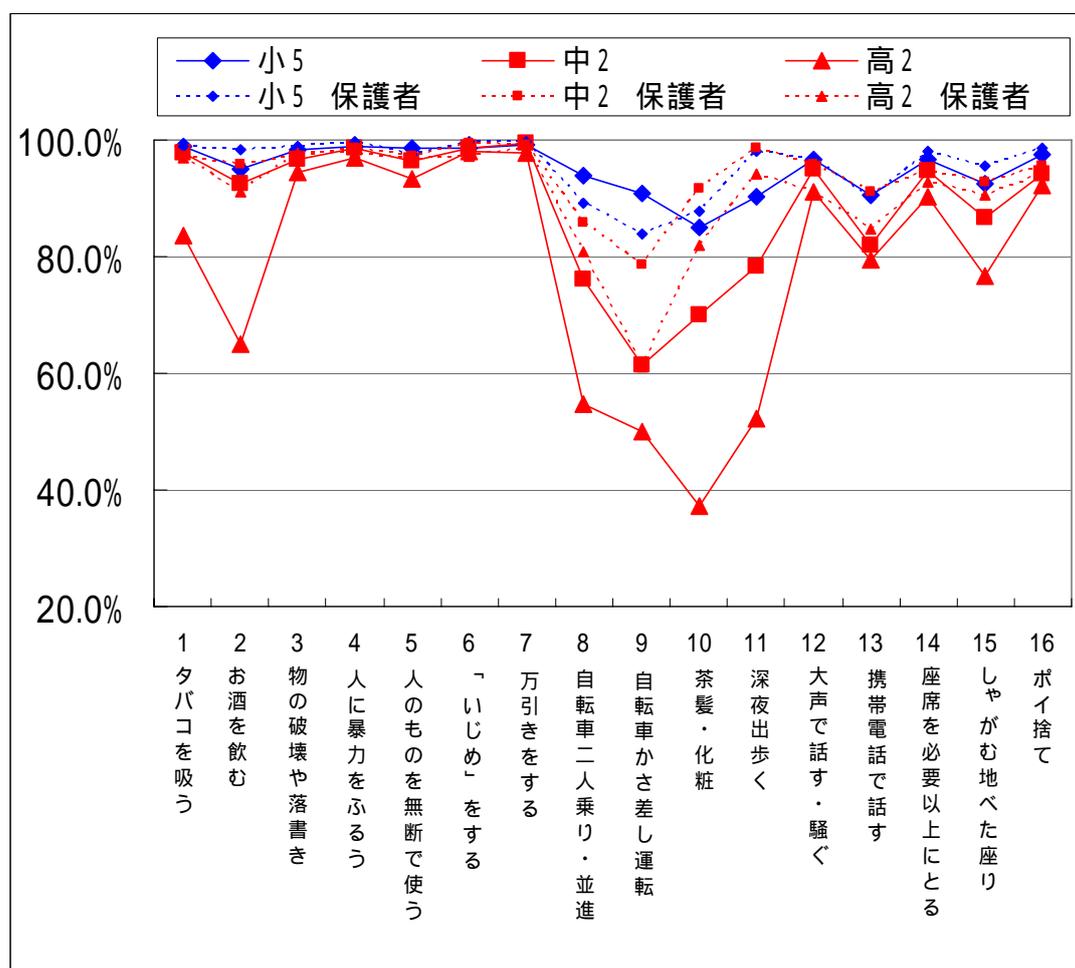
- ア どの項目も、自分の子どもに「注意する」割合と、自分の子ども以外の子どもに「注意する」割合には大きな差がある。

(4) 児童生徒と保護者の意識の違い

ここでは、ルールやマナーについての善悪の判断について、児童生徒の「悪い」「悪い」と「どちらかといえば悪い」を合わせた割合)と、保護者の「自分の子どもを「注意する」の回答の割合を比較する。

保護者の「注意する」を、保護者はそれらのことを「悪い」と判断したため「注意する」と解釈すると、この比較によって見られる割合の差を、児童生徒と保護者との意識の違いと見ることができる。

下のグラフは、20ページと29ページのグラフを一つのグラフにまとめて示したものである。



〔結果から見られる特徴〕

- ア 小5では、どの項目でも、児童と保護者の意識の差は小さいが、中2、高2では、いくつかの項目で生徒と保護者の間に意識の差が見られる。
- イ 「1. タバコを吸う」、「2. お酒を飲む」は、保護者は学年の差があまりないが、児童生徒は、高2だけ大きく低下しており、保護者との意識の差が見られる。
- ウ 「10. 茶髪・化粧」、「11. 深夜出歩く」は、中2、高2で、生徒と保護者の意識の差が大きい。

(5)保護者の結果から考えられること

- どの項目についても、自分の子どもがそのような行動をとった場合、保護者は注意をするという意識を強くもっている。
- 一方、自分の子ども以外の子どもを注意することにはためらいを感じる 경우가うかがえるが、マナーに関することよりもルールに関することについては、注意をするとの回答が比較的高い。
- ルールやマナーについての善悪の判断については、児童生徒・保護者ともほぼ同じような傾向であり、同じ意識であるといえる。
- 多くの保護者は自分の子どもに「注意する」と回答しているが、100%にならなかった分の保護者は「なかなか注意できない」あるいは「注意しない」と回答していることになる。
- 喫煙、飲酒、茶髪・化粧、深夜出歩くについては、児童生徒が理解し納得できるよう、家庭や学校で粘り強く指導していくことが必要と考えられる。